

テーマ: 韓国の昔話を紹介しあい、その中から語劇のタイトルを決めよう

レベル: 3

<場面状況>

T 外国語大学では秋の文化祭で、各専攻語の 2 年生による語劇を上演する伝統がある。朝鮮語専攻では今年の語劇のタイトルを決めるため、6 つのグループに分かれ、韓国人なら誰でも知っている昔話を一つずつ紹介した上で、その昔話が語劇のタイトルとなった場合の良さをアピールすることにした。

<活動の流れ>

1. グループごとに、先生が提示した「韓国人なら誰でも知っている昔話」の中から 1 つを選ぶ。
2. インターネットや書籍でその昔話のあらすじを調べる。
3. インターネットや書籍でその昔話の背景、メッセージなどを調べる。
4. グループで話して、語劇のタイトルとしてこの昔話の良い点を良くない点を探し出す。
5. グループで話してこの昔話を紹介する形式や伝達方法を定める。
6. グループの中で役割分担をし、担当部分の原稿を書き、その紹介の練習をする。
7. グループで昔話の紹介と語劇のタイトルとしてのアピールを見て、その中から一番良いと思われる物語を選び、その理由を文章にまとめる。
8. グループでの作業を振りかえし、自分の担当部分を説明し、反省点や良かった点を上げながら報告書を書く。

テーマ名:韓国の昔話を紹介し合い、その中から語劇のタイトルを決めよう。

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容紹介に必要な語彙や表現を覚える。 ・昔話の背景、魅力を伝えるため必要な語彙・表現を覚える。 ・自分の評価を伝えるための語彙・表現を覚える。 ・起きた事柄を伝えるための語彙・表現を覚える。 	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話の背景、魅力を理解する。 ・日本やその他の国の類似した物語との類似点や相違点を探し出すことができる。 	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや書籍から物語やその背景などの関連情報を集めることができる。 ・パソコンや視聴覚道具を駆使し、効果的かつ魅力的な発表をすることができる。
できる	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話の内容を伝えることができる。 ・昔話の特徴を伝えることができる。 ・良さをアピールしながら意見を伝えることができる。 ・質疑応答ができる。 ・自分の評価や起こった事柄を文章にまとめることができる。 	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定の観点から(語劇)昔話の魅力进行分析することができる。 ・複数の物語を一定の観点から(語劇)評価することができる。 	シナリオ中の該当する箇所
つながる	シナリオ中の該当する箇所	シナリオ中の該当する箇所	シナリオ中の該当する箇所
三連携	シナリオ中の該当する箇所 (関心・意欲・態度)	<ul style="list-style-type: none"> ・語劇のタイトルという実際の課題とのつながり。 ・みんなの前での発表。 ・期末テストでの評価。 	
	シナリオ中の該当する箇所 (既習内容・経験、他教科の内容とつながる)	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の昔話の文化人類学的解釈を行う科目とのつながり。 ・学術リテラシーの授業とのつながり。 	
	シナリオ中の該当する箇所 (教室外の人・モノ・情報とつながる)		